



【写真1・2】赤やオレンジ・黄色や緑色など、商品のコーナーごとに鮮やかな色彩で色分けされたスーパー・マーケット。機能面と雰囲気作りを両立させたデザインとなっています。床のタイルは光沢のある暖色系の色彩を採用し、照明の灯りも電球色で統一され、高級感と温もりを感じさせる、心地よい空間に仕上がっています。

【写真4・5】暖色系の落ち着いた色彩で構成された歯科医院。リラックスして診療を受けられるように、優しい雰囲気の色彩を選択しました。曲線の壁で構成された診療ブースは、包み込まれるような安心感を感じられる空間デザインになっています。

【写真6・7】シックな雰囲気の待合室がある眼科医院。空間ごとにアクセントカラーを用いて、メリハリのある空間デザインを施しました。検査スペースは、目に優しいパステルグリーンの壁紙を採用し、健康や癒しを印象付けるようなデザインとなっています。



<3>

<2>



<5>

<4>

<7>

<6>



# Feng-Shui Gallery

special edition vol.83

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

## 『空間ごとに考える色彩の働き』 ～店舗・クリニック編～



<1>

店舗やクリニックなどの色彩を考える場合、  
空間の目的に沿った色彩を採用することが大切です。  
店舗であれば気分を高揚させる色  
クリニックであればリラックスできる色が適しています。

訪れる人が快適に過ごせる空間をつくり上げる為に、色彩が与える影響は大きいです。

店舗であれば、明るく楽しい雰囲気でビビットな色彩を  
クリニックであれば、優しい柔らかい雰囲気のパステルカラーを選定すると良いでしょう。